



亀塚第一住宅跡地利用

長田 忠広

問 施設整備で期待するものは何か伺う。

市長 施設整備を民設民営でお願いしたいというのが第一点です。そして、その整備の中には国などの助成金を活用していただき、柔軟な視点で取り組んでいただきたいと考えます。

問 事業を提案いただくための機能区分についてどう考えているか伺う。

総務部長 機能については、保育所の機能、また地域子育て支援センターの機能、それに加えて障害者、高齢者の支援機能などによって、交流の促進が生まれる機能をぜひお願いしたいと考えます。

高齢者交流施設必要では

問 今回の施設整備にあたって、高齢者の交流施設として、旧千寿荘のような施設が待ち望まれると思うがどうか伺う。

総務部長 今回の亀塚第一住宅跡地の活用方針としては、それを必須の機能とは現在考えていません。ご提案をいただく民間事業者の

方々にそのような部分も含めた提案がありましたところに、岩沼市で評価させていただければと考えます。

問 高齢者の交流施設に飲食施設も併設して、障害者の就労の場をつくったらどうか伺う。

総務部長 これも必須の施設とは考えていないところですが、多世代交流の促進にあたっては、高齢者の方々、地域の誰もが気楽に施設に足を運ぶことができる仕掛けづくりが大変必要だと考えます。また飲食施設もその一つだと考えますので、障害者の就労支援として大変有効な機能として発揮できるものと考えます。機能の一つとして事業者の方々にご提案いただければと考えています。

◎その他の一般質問

- ・ AED (自動体外式除細動器) の設置
- ・ 地域福祉計画



いじめと対策

菊地 忍

問 いじめの現状をどのように把握しているのか伺う。

学校教育課長 各学校が生徒指導月例報告を提出し、その後、報告をもとに、いじめの認知件数及び内容を把握しています。

問 認知件数を伺う。

学校教育課長 昨年度は小学校59件、中学校も同じ59件です。

問 不登校の児童生徒数を伺う。

学校教育課長 小学校は10名、中学校は58名です。

問 不登校がいじめにつながる可能性も非常に多く秘めている。これに対する早急な対応や対策が必要と感じるが、その辺はどのように考えているのか伺う。

学校教育課長 岩沼市としては相談体制、要するにスクールカウンセラー、あるいはスクールソーシャルワーカー等を活用し、子どもたちの心のケアを行っています。

問 いじめと対策について、教員の専門的知識の習得が必要と思うが、どのように考えているのか伺う。

学校教育課長 県の指導主事の方々

が学校に来て授業を見たあとに、いじめ問題に関する研修会等を行っています。

子どもの声を聞いて

問 対策として「子どもたちの心の声」を一番近くにいた先生が聞いてあげられるよう、教員のスキルアップが必要と思うが見解を伺う。

教育長 保護者との連携や地域との連携を深め、岩沼市として「いじめゼロ」「不登校ゼロ」に向けて努力していきたいと思えます。

- ◎その他の一般質問
- ・ 学生への通学支援
- ・ 市民の生命、財産を守る対策

いじめ認知件数

区分	認知件数 (件)
小学校	237,921
中学校	71,309
高等学校	12,874
特別支援学校	1,704
計	323,808

平成28年度いじめ認知件数 (文部科学省調査データより)